

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

まだ夜が明けきらない早朝、空の端がうすい赤色に変わりはじめたころ、小学四年生のゆいは、お母さんに起こされました。眠い目をこすりながら外へ出ると、ひんやりとした空気がほほに触れ、草原の向こうから鳥の鳴き声が聞こえてきます。家の裏にある牧場は、朝の日ざしを受けてまるでゆっくりと目を覚ましていくようでした。

牛舎の戸を開けると、乳牛たちがゆいを見つけて「モー」と鳴きます。その声には「今日もよろしくね」という挨拶がこめられているようで、ゆいは自然と笑顔になりました。

まずは牛たちの体をブラシでこすってキレイにする仕事です。ゆいは背伸びをしながら、丁寧にブラシを動かしました。牛の体は大きく、温かく、ゆいがこすると気持ちよさそうに目を細めます。

「牛が元気じゃないと、おいしいミルクは出ないからね。」

お母さんがそう言うのと、ゆいはうなずきながら、ますます手に力をこめました。

ブラシが終わると、今度はミルクをしぼる時間です。機械をとりつけると、低い音が静かに響きはじめ、白いミルクが銀色のタンクへ流れていきましました。ゆいはその様子を見ながら、「ミルクはこうして私たちの食卓に届くんだ」とあらためて感じます。

朝の仕事がひと段落すると、牛たちを広い放牧地へ連れていきます。外へ出た牛たちは、うれしそうに草を食べはじめました。風が吹くたびに草原が波のようにゆれ、遠くには青い山々が連なっています。

「自然って、ほんとうに大きいなあ。」

ゆいが深呼吸をすると、草のにおいと土のにおいが胸いっぱいになりました。

そのあとは、牧草をはこぶお父さんの手伝いです。大きなトラクターがゴウンと音を立てて動き、その後ろから、お父さんが束ねた牧草を運んできま

す。ゆいは重くて運べないので、落ちていた枝を拾ったり、牛が食べやすいように草をならしたりと、小さな仕事をていねいにこなしていきましました。

「ゆいのおかげで、ずいぶん助かってるよ。」

お父さんにそう言われ、ゆいの胸の中にあたたかいものが広がります。自分の仕事が牧場の役に立っていると感じられ、それがとても誇らしく思えましました。

昼になると、いったん家へ戻って昼食をとりまです。牧場で体を動かしたあとは、いつものご飯がもっとおいしく感じられました。「午後もがんばるぞ」とゆいは気持ちを新たにします。

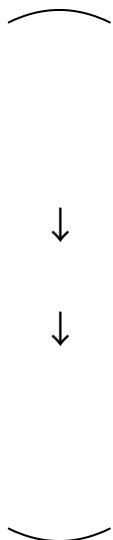
午後は、放牧地の見回りと、牛たちの体調チェックです。牛がケガをしていないか、草が足りなくなっていないか、ゆいはお母さんと一緒に広い草原を歩きます。夏の日ざしは強いけれど、ときどき吹く風が気持ちよく、虫の声や鳥の声も聞こえてきました。自然にかこまれた牧場で過ごす時間は、ゆいにとって特別な宝物でした。

夕方、空がオレンジ色に染まりはじめるころ、放牧地の牛たちを牛舎へ戻します。広い場所から戻るの少し名残惜しいのか、牛はゆっくりと歩きました。その歩みに寄りそいながら、ゆいは「今日も一日ありがとう」と心の中で声をかけました。



(1) ゆいが牧場で行った朝の仕事を、早い順に並べかえなさい。

- ① 牛たちを放牧地へ連れていく
- ② 牛の体をブラシでこする
- ③ ミルクをしぼる



(2) 牛の体をブラシでこすったとき、牛が「気持ちよさそうに目を細めた」理由として最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① ブラシの動きが心地よく、安心できたから
- ② ゆいが近くにいて、落ち着いた気持ちになれたから
- ③ 朝の涼しい空気と穏やかな雰囲気に包まれていたから
- ④ 外に出る時間が近づき、気持ちが静まっていたから

(3) 文中の「——」の「その様子」とはどのような様子ですか。次のマスに合うように文中より抜き出しなさい。

いく様子

(4) ゆいは草原を見て、「自然って、ほんとうに大きいなあ」と感じました。そのときゆいが胸いっぱい広がったとあるのは、何のにおいですか。文中より抜き出しなさい。



(5) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- () ゆいは牧草を運ぶ大きな束を1人で持ち上げた。
- () ゆいは小さな仕事もていねいにこなした。
- () 夕方、放牧地から牛を戻すとき、牛はすばやく走り出した。

(6) ゆいにとって、牧場で過ごす時間はどのようなものとして描かれていますか。最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① 自然の中で働くよろこびと大変さの両方を感じる時間
- ② 毎日同じ作業が続くため、気持ちがゆれやすくなる時間
- ③ 牛の世話が思うようにできず、達成感の少ない時間
- ④ 家族からはなれて、自分だけでのびのび過ごす時間

(1) ゆいが牧場で行った朝の仕事を、早い順に並べかえなさい。

- ① 牛たちを放牧地へ連れていく
- ② 牛の体をブラシでこする
- ③ ミルクをしぼる

② ↓ ③ ↓ ①

(2) 牛の体をブラシでこすったとき、牛が「気持ちよさそうに目を細めた」理由として最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① ブラシの動きが心地よく、安心できたから
- ② ゆいが近くにいる、落ち着いた気持ちになれたから
- ③ 朝の涼しい空気と穏やかな雰囲気に包まれていたから
- ④ 外に出る時間が近づき、気持ちが静まっていたから

(3) 文中の「——」の「その様子」とはどのような様子ですか。次のマスに合うように文中より抜き出しなさい。

白	い	ミ	ル	ク	が	銀	色
の	タ	ン	ク	ヘ	流	れ	て

いく様子

(4) ゆいは草原を見て、「自然って、ほんとうに大きいなあ」と感じました。そのときゆいが胸いっぱい広がったとあるのは、何のにおいですか。文中より抜き出しなさい。

草のにおいと土のにおい

(5) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- (×) ゆいは牧草を運ぶ大きな束を1人で持ち上げた。
- (○) ゆいは小さな仕事もていねいにこなした。
- (×) 夕方、放牧地から牛を戻すとき、牛はすばやく走り出した。

(6) ゆいにとって、牧場で過ごす時間はどのようなものとして描かれていますか。最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① 自然の中で働くよろこびと大変さの両方を感じる時間
- ② 毎日同じ作業が続くため、気持ちがゆれやすくなる時間
- ③ 牛の世話が思うようにできず、達成感の少ない時間
- ④ 家族からはなれて、自分だけのびのび過ごせる時間